

第4回 廿日市市市民活動センターフェスティバル 2027年3月7日（日）開催に向けて、実行委員会を編成しました！

第4回 廿日市市市民活動センターフェスティバルを、2027年3月7日（日）に開催します。当市民活動センターでは、9月1日（火）に第1回実行委員会を開催しました。

現在、廿日市市市民活動センターフェスティバル実行委員会では、今回のテーマとして、「つどう・まじわる・しりあう」のもと、開催案内ポスターデザインの募集を行っております。参加資格は、『廿日市市市民活動センターへのネットワーク登録済の団体』／『市民活動センターフェスティバルにご参加いただいている団体』となっております。

10月31日（土）が締め切りとなっております、ご提出いただいたポスターデザインにつきましては、本市民活動センターフェスティバル実行委員会の中で選定・選考し、ホームページにて当選ポスターデザインを公開させていただきます。皆さんからの応募をお待ちしております。

（廿日市市市民活動センターフェスティバル実行委員会）

ペットボトルキャップでポリオワクチン（急性灰白髄炎予防ワクチン）を！

廿日市市市民活動センターでは、南側入り口にペットボトルキャップ回収BOXを設置し、集まったペットボトルキャップを日本赤十字社を通じて、ポリオワクチンへ交換する取り組みを行っています。満杯（約3000個～約3500個）で3人～4人分のワクチンになります。

ポリオは乳幼児に弛緩性麻痺を引き起こし、後遺症や成人後の死亡率も高い感染症で、世界では未だに根絶できていません。日本でも輸入症例防止や変異型ウイルスの監視が課題とされ、ワクチン接種率維持が重要です。皆さんのご協力が、根絶活動の一助となります。引き続きご支援をお願いいたします。



「残念さん」の歴史を知ろう ～高速道路から見える不思議な看板～

高速道路を走っていると、広島県廿日市市大野で「残念さん」と記された看板が目に入ります。その名が伝えるのは、幕末の戦乱にまつわる一人の武士の物語です。

慶応2年（1866年）、幕府と長州藩が戦った第二次長州征討では、広島藩領へ通じる芸州口も戦場となりました。大野の四十八坂周辺では攻防が続き、7月9日、宮津藩士の依田伴蔵が長州側の陣営へ向かいます。和平に関する伝達を託されていたとされますが、敵兵と誤認されて撃たれ、「残念…！」と言い残して亡くなったと伝えられています。

その死を悼み、地域の人々が祠を設けたことから、依田伴蔵は「残念さん」と呼ばれるようになりました。

現在の残念社は、戦いの記憶だけでなく、立場を越えて平和を願った人の姿を伝える場所でもあります。周辺には依田神社など関連史跡も残り、地域の人々によって守られています。看板の先にある小さな社は、大野に刻まれた幕末史を静かに今へ伝えていきます。



（出典資料・記事参考）
AI生成 - ChatGPT
廿日市市「広報はつかいち」2018年6月号 大野の残念社・依田神社、依田伴蔵、地域住民による建立・保全活動、7月9日の週末の祈念祭
丹後地区広域市町村圏協議会『近世・近代における郷土の先覚者』 宮津藩士・依田伴蔵の経歴、慶応2年の第二次征長戦争、使者としての経緯
大竹市歴史研究会「長州戦争（芸州口の戦い）」 第二次長州征討と芸州口の戦い、依田伴蔵に関する地域史の伝承
一般社団法人はつかいち観光協会「残念社」 現地の由来、四十八坂周辺との関係、残念社に関する観光情報

さくらdeファミリー編集委員会
廿日市市市民活動センター 指定管理者：株式会社オオケン Mail:info@hatnet.jp Tell:(0829)32-3741

市民活動情報誌 - さくらdeファミリー - 9月 発行

活動報告

はつかいち平和ツアーin広島2026 16か国の留学生が参加

8月5日から9日の4泊5日、日本の大学に通う留学生17名がホームステイ先で日本の生活を楽しみ、日中は平和学習に参加しました。21回目を迎える今年は、中央市民センターと共催し、書道体験、箏クラブの演奏、空手クラブの演武で楽しく交流しました。

被爆体験英語講話には65名が集まり、被爆体験家族伝承講話では、原爆投下当時の廿日市の様子を72名が聞き入りました。平和について一緒に考えるととても良い時間となりました。



8月7日碑巡り開始前に原爆ドーム前で記念撮影



フェアウェルパーティー。今年は留学生と日本人大学生のパフォーマンス発表で盛り上がりました。



（記事提供：廿日市市国際交流協会）

廿日市商工会議所 渋谷会頭による まちづくり講演会 が開催されました！



70代から80代の8名が参加し、まずeスポーツの定義やeスポーツが脳に与える影響などを講師の大窪さんが解説しました。そして、ゲーム初心者の方もeスポーツを体験しました。今回は「ぷよぷよ」と「太鼓の達人」を使い、操作方法やゲームの楽しみ方について説明を受けた後、実際にゲームをプレイしました。初めてeスポーツに触れる方もいましたが、操作方法を学びながら、楽しんで体験することができました。

今回の教室を通して、eスポーツを身近に体験し、その楽しさに触れていただくことができました。参加者からは次回の開催を期待する声もあり、eスポーツを楽しみながら、新しいことに挑戦する機会となりました。

第2回 みんなのスマホ教室

高齢者がeスポーツのゲームにふれることは認知症予防に効果的という結果も出ています。若さを保つためにも是非ためしてください。



最後に、先人から受け継いできたまちを次に繋ぐ繋ぎたいまち、市民・企業・行政が応援し合えるまち、長い歴史に育まれた文化や豊かな自然を守り繋ぐまち、環境・生物多様性に取り組むまち、廿日市市に関わりのある様々な人と繋がるまちを目指し、希望が持てる魅力あるまちにしていきたいと地域の未来ビジョンを示されました。

～災害時に、自分で必要な情報を取得するスキルを身につけよう～

場 所：廿日市市民活動センター
日 時：２０２６年１０月１３日（火）
１３時３０分～１５時００分



場 所：金剛寺小学校
(地御前2丁目22-1)
日 時：2026年11月13日(金)



場 所：廿日市市民活動センター
日 時：２０２６年１２月１５日（火）
１３時３０分～１５時００分



そして経営支援や会員のネットワークを通じて経済界が取り組む地域の振興、連携によって生み出される新たなビジネスチャンスを紹介され、重点として取り組んでいる「経済：オールはつかいちで」「環境：地球環境にやさしい行動」「文化：継承し伝える」について説明されました。

さらに廿日市市のこれからについて経済・産業・観光が調和した一つのまとまりや秩序を作り出す未来ある街になること、廿日市商工会議所の提言と



第2回「みんなのスマホ教室」のお申し込みは、
こちらのQRコードをスマートフォンで読み取りください！